

(第1回) 沼田市地域コミュニティのあり方検討委員会 会議録

日 時

令和4年8月4日(木) 19:00～21:04

場 所

テラス沼田1階 多目的スペース

出 席 者

委 員 17名

※敬称略

・川端 富夫 ・山田 良美 ・倉澤 由之 ・松井 弘樹
・中村 一喜 ・田島 護 ・角田 祐子 ・左部 ゆかり
・齋藤 照恵 ・伊藤 智康 ・佐藤 亜貴 ・地野 裕一
・星野 盾 ・安原 和宏 ・信澤 毅 ・武井 秀一
・角田 真由美

アドバイザー 1名

・櫻井 常矢

事務局 4名

・田邊 一樹 ・織田澤 清子 ・見城 俊彦 ・角田 好夫

欠 席 者

委 員 3名

※敬称略

・高田 式久 ・田中 耕太郎 ・大嶋 康

次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶
- 4 自己紹介
- 5 正副委員長の互選

委員長：川端富夫委員

副委員長：左部ゆかり委員

- 6 協議事項

- (1) 本市の地域づくりの経過説明
- (2) モデル地区の取り組み状況

(3) アドバイザー講話

(4) 意見交換

(5) その他

7 その他

今後の会議日程

第2回	8月30日(火)	19:00~	多目的スペース
第3回	9月30日(金)	19:00~	Waltzホール(議場)
第4回	10月26日(水)	19:00~	Waltzホール(議場)
第5回	11月30日(水)	19:00~	多目的スペース

8 閉会

6 協議事項

委員長	<p>次第の6. 協議事項(1)『本市の地域づくりの経過説明』について、事務局から説明をお願いする。</p>
事務局	<p>全国的に、人口急減、そして高齢化もかなりのスピードで進んでおり、それは本市においても、もちろん例外ではなく、役のなり手がいないなど、様々な声を聞いている。</p> <p>そこで、地域のことは地域で話し合う、対話を大切にした地域づくりを進めるため、高崎経済大学の櫻井教授にお世話になり、令和3年度から、利南、池田、薄根、川田の4地区を、地域づくりのモデル地区と位置付け、複数回にわたり座談会を開催し、延べ625人の方々にご参加いただいた。</p> <p>こうした中、モデル地区の取組みを参考に、誰もが安心して幸せに暮らし続けられる持続可能な地域コミュニティのあり方を検討するため、本委員会を設置した。</p> <p>設置要綱にもお示ししたとおり、本委員会は、「地域コミュニティの現状と課題に関すること」や「地域コミュニティが推進していくべき方向性及び方策に関すること」を検討し、その結果を取りまとめ、市長に報告することになっており、委員20名をもって組織されている。</p> <p>また、専門的な立場から助言を求めるため、高崎経済大学の櫻井常矢教授に、本委員会のアドバイザーをお世話になっている。</p> <p>最後に、委員会の設置期間についてであるが、地域コミュニティのあり方の検討結果を市長に報告する日までとなっており、コロナの感染状況にもよるが、年度内での市長への報告を考えているので、よろしくをお願いしたい。</p>
委員長	<p>先ほどの事務局の説明を踏まえ、櫻井アドバイザーから補足をお願いしたい。</p>
アドバイザー	<p>4地区はモデル地区としてこの1年走ってきていることが事実としてある。助言している私の考え方でもあるが、通常の行政的手法というのは、たぶん会議をやってから、地域にこれをやってくれというような、行政側で枠組みを決めて、こういう地域づくりを進めていただきたいという流れが通常の手法であると思う。ただ、このあとモデル地区の発表もあるようだが、今回の沼田市の事業は、「こういう取組みをしていただきたい」「こういった形が理想的である」という資料は一切配っていない。つまり、実践あって制度を作る、仕組みを作る。実践は、1年以上積み上げてきているので、先程の池田の話しでもあったとおり、まだまだ先は遠い、長い、が、せっかく4地区が頑張っているわけだから、これをこの検討委員会で議論</p>

	<p>して、これからの高齢化時代、こういう地域づくりは大事ではないかという、実践に基づいて仕組みを考え、4地区以外にも沼田市には地域がいっぱいあるので、ほかにも取組みを広めていかなければならない。その辺りが、他の自治体との違いとして特徴的であると思う。</p> <p>仕組みがあって実践があるのではなく、実践があって仕組みを考えていく、そういう流れの中で、一旦整理をしようという検討委員会が、これから始まると思っている。</p>
委員長	<p>続いて、協議事項（2）『モデル地区の取り組み状況』についてであるが、令和3年度から、利南、池田、薄根、川田の4地区を、地域づくりのモデル地区と位置付け、対話を大切にした座談会を、複数回にわたり開催し、地域づくりを進めている。</p> <p>本日は、その取組内容を、本委員会の委員の皆さまにお伝えし、スタートにあたってそれを道標としながら進めていきたいということで、モデル地区の代表として、池田地区の取組みをお聞きいただきたい。</p> <p>倉澤委員、お願いしたい。</p>
倉澤委員	<p><u>(池田地区の取組状況発表)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■別紙資料による ■「ミニ座談会」→「明日の池田を考える会」→「振り返り会」までの取組みを紹介
委員長	<p>委員の皆さんから、何かご質問等があればお願いしたい。</p> <p><u>【特になし】</u></p>
委員長	<p>櫻井アドバイザーから補足等があればお願いしたい。</p>
アドバイザー	<p>今の資料をもとに、2点ほどこの事業の確認であるが、先程、実践があって仕組みができると申したが、市民の皆さまの主体的な取組みが、今の発表の事例の内容である。さらに、その上で2点申し上げたいのだが、1つは市民の皆さまから組み立てていく、例えば、市内3会場で同じ講演を3回繰り返したが、講演会を聴いてこの取組みを是非やってみたいと手を挙げたところについて関わっていかうとなった。いくら行政がやる気になっても、アドバイザーがやる気になっても、その地域の人にやる気がなければ何もならないので、手を挙げていただいたところに関わっていかうということになった。結果、講演を聴かれた方の行動が大きく影響を与え、4地区手が挙がり、4地区がモデル地区になった。</p> <p>私が申し上げたいことは、行政からお願いして4地区になったわけではない、手を挙げていただいたということである。</p> <p>資料にあるミニ座談会ということで、直ちに大勢の人を集めない</p>

で、まずはコアメンバー、いつも地域づくりに関わっている人たちに本音で議論してもらおう。議論を4回重ねていったらもっと多くの人の意見を聴いてみたいということで、「明日の池田を考える会」というように、市民からの組立てというか、市民発の自然な考え方で展開していった。先程の発表を聴いてうれしかったことは、延べ144名集まったことは知っているが、資料の後半にあった7月28日に振り返り会があって、希望制で18名が集まり、関心ある方も新たに加わったようだが、18名がこれをどう生かしていくかということで、再びミニ座談会のような形に戻って展開していき、こちらが組み立てたシナリオではなくて、市民の皆さんが考えた流れでここまで展開しているのので、この点は是非行政の皆さんも、お集まりの委員の皆さんにもご理解いただきたいというのが一つである。

もう1点だけ、4地区それぞれの地区に思い入れが、印象深い場面があるが、ある地区で印象が深かったのが、これからの時代を担う、そういう若手衆が、毎回ではないが座談会に代わる代わる来てくれた。その時に印象的だったのが、「役職が大変だ」というような言葉であった。夜も仕事をしており、暇なのは冬場だけだ。春夏秋とずっと仕事をしており、そういう中で地域づくりの役職とか、そういったものがのっかってくるというのが非常に大変だ。」という言葉である。そういう本音のやり取りが大事であると思う。その結論がどうなったのかは、その地区の皆さんにしかわからないと思うが、私はその時、むしろベテランの方から、自分たちが頑張らなくてはこの雰囲気を感じとった。

委員長	続いて、協議事項（3）『アドバイザー講話』になるが、櫻井アドバイザー、ご準備のほどよろしくお願ひしたい。
アドバイザー	<p>（櫻井アドバイザーによる講話）</p> <p>高齢化・人口減少時代の地域づくりに向けて</p> <p>－ 検討委員会の始まりにあたって －</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多様化・深刻化する地域の課題 ■広域コミュニティの必要性・基本的な考え方 ■行政の役割（人的支援、財政支援など）
委員長	続いて、協議事項（4）『意見交換』になるが、委員の皆様から、今後進めていく上で自分が思っていること、頑張っていきたいことを一言お願ひしたい。
委員	初回から座談会に参加しているが、私たちもこれからどんどん歳をとっていくので、若手を応援していけるような姿勢でいたいと思う。
委員	今取り組んでいる組織の在り方とか行事の見直しとか、そういう

	<p>ものとおしながら、地域の力が合わさるような活動になれば。</p> <p>沼田市全体の地域づくりであるが、高齢化、少子化が当たり前なので、そういったことを踏まえて地域の活力になるような、今後のあり方を考えていければ良いのかなと思う。</p>
委員	<p>行政主導で組織を立ち上げようというときに、最初に会議をやる手法が今までであったが、課題を行政がみつけて、それを行政の職員が考えるやり方よりも、地域に入ってボトムアップの形で、住民の声を聞きながら住民主体でやっていくという手法が、持続可能な地域づくりになると改めて感じたところである。</p>
委員	<p>地域づくりは既に課題解決の時代なので、活性化というよりも、今ある課題をどう解決していこうかっていうのが凄くよくわかる。</p> <p>地域の組織立ても、40年、50年前の組織立てがそのまま移行している気がしており、新しい仕組みづくりというのが必要になるのかなということを感じた。</p>
委員	<p>地区の役員を引き受ける人がほとんどいなく、同じ人がずっとやっております、あとが入ってこないの、人材の発掘と育成という話しは、非常にすごいと思った。</p>
委員	<p>今日の話聞いて、正直刺激を受けた。頑張らなければと正直思った。どんな形であっても、何らかの形で携わっていきたくと思う。</p>
委員	<p>今日参加させていただいて、人材不足とか役員の担い手がいないとか、役員になって名前は挙がっているけれど一回も出てこないとか、そういう人をどのように参加させるのかって思った。農業とか伝統にも素晴らしい人がたくさんいると思う。</p>
委員	<p>お互いさまのまちづくりでは、中学校区ごとに協議体というのができて活動しているが、沼田市と一口で言ってもそれぞれの協議体は違うし、一つの協議体の中でも、ほかの町のことはわからないという話しになる。今日話しを聞いていて、そこに集まる人が一人でも何役もされている、民生委員の立場であったり、町に帰れば班長だったり、地区委員だったりされているが、担い手不足とか負担感を抱いていることに気づいた。</p>
委員	<p>普段、地域の方と話しをしていると、負担感というものがあって、今あるものと今ある人を大事にしながら、進めていくのが良いだろうと思ってやってはきたが、迷いながらやっているのが正直なところである。みんな抱えている悩みは共通なのかなってところで励みになったのと、発想の転換というところが、今までのことをやっても限界が来るといところで、できるだけポジティブに楽しく地域づくりに取り組めたら良いかなと思っている。</p>

委員	消防団は、高齢化と人口減少のあおりをもろに受けており、欠員も出て、団員の高齢化も見られ、地域を守る立場の方もなかなか見つからないという問題も顕著で、部の統合、合併などの話しも盛んにされるようになってきた。ほかに持っている団体でも、欠員が出たままの状態でもある。今回のテーマが、持っている団体の話しにも共通してくると思う。
委員	行政よりもボトムアップでという部分で、どのように住民の地域活動を支える仕組みづくりとか支援をしていったら良いか、きちんと考えていかななくてはならないと思う。
委員	会議に人が集まらないことは肌で感じているので、一市民としてどういうことが出来るのかということを考え、それを市の施策に反映出来ればと思っている。
委員	地域の皆さんが積極的に集まり、コミュニケーションをとって議論されている事例紹介を見て、地域の力が凄いななどというところに感動した。
委員	行政的な形で行事を決め、こちらがすべてやっていくという手法をとっていたが、新たな手法を取り組んでいければと思う。
委員	一番肝心なのは、人が動いてくれないとどうにもならないということである。職員を動かす、人を動かす、皆さんにお願いするということが頑張っていきたいと思う。
委員長	協議事項（５）『その他』が残っており、事務局から連絡事項があると思うのでお願いしたい。
事務局	<p>今回の会議から発言要旨をまとめさせていただき、また、会議録を市のホームページで公開したいと考えている。</p> <p>発言者の名前の掲載は、名前が出ることで、発言が出にくくなるとも考えられ、また皆さまから活発な意見をいただきたいと思うので、委員長、委員などの役職のみの表記とし、名前は掲載しないことと考えている。そして、ホームページに公開する前には、事務局で作成した会議録を事前に委員長に確認していただき、了解を得た上で公開したいと考えている。</p> <p>また、本日お手元にお配りした委員名簿も、会議録に併せてホームページに掲載するので、よろしくお願いしたい。</p> <p>続いて、本日の会議については公開していないが、次回から会議の傍聴については、希望があれば会場内に傍聴席を設けて公開したいと考えている。傍聴に係る諸条件等については、その都度委員長に協議の上で対応したいと考えている。</p>
委員長	ただ今の事務局からの提案について、委員の皆さまから意見があればお願いしたい。

	【特になし】
委員長	本日予定された協議事項については、これで全て終了した。 事務局にお返しする。